

「こんな施設もあったんだ3」

～「障害の重さを家族の負担としない」デーセンター～

「デーセンター」とは重い障害があっても地域から通うことができ、個々人にあった活動を保障する施設のこと。意思決定支援が叫ばれる今、利用者と真っ向から向き合い、生きがいを保障していくその支援の深さに触れてみたいと思います。また、県内施設職員とのセッションも企画しています。多くの方々のご参加をお待ちしています！

参加費：無料
定員：80名

日時 2018年3月18日(日)

14:00～16:30(受付13:30)

会場 沖縄県総合福祉センター 4階5・6・7会議室

(那覇市首里石嶺町4丁目373-1)

プログラム 1 講演「デーセンターの実践」 小山千恵さん

2 ミニセッション 川村敦さん(共に生きる町「たいら」施設長)

池田朝彦さん(南部療育医療センター相談室長)

講師プロフィール

社会福祉法人ゆうのゆう
重度心身障害者の生活介護施設
「デーセンター夢飛行」副施設長

小山千恵(社会福祉士・介護福祉士)

デンマーク研修で北欧の社会福祉を
学び、現地施設実習に参加。海外の
孤児院支援などアジアの福祉視察を
独自で行うなどアクティブに活動中

「ゆうのゆう」って？

91年に大阪市西成区で無認可作業所として誕生し、92年にデーセンター「夢飛行」を設立。その後、デーセンターを3カ所に拡大。NPO法人W・I・N・G-路をはこぶ、ヘルパー派遣、グループホーム「もくもく」など地域生活支援を実践。モットーは「父・母分離を前提とした運営を行い、多くの人々と手をつなぎながら、既存の価値観、制度の桎梏にとらわれず活動」すること

締切り 3月13日(火)
裏面にてFAX

主催 おきなわふくしオンブズマン

後援(予定) 沖縄県社会福祉士会 沖縄県知的障害者福祉協会

お問い合わせはメール sima.csw@gmail.com にてお願いします。

参加申込書

おきなわふくしオンブズマン事務局あて

締切り 2018年3月13日（火）

FAX 098-993-5065

「きらめく実践フォーラム3」への参加を申し込みます。

申し込み日 年 月 日

ふりがな	
氏名	ほか 名
施設名 所属名	
住所	〒 TEL E-mail
職種など (○印をつけてください)	<ul style="list-style-type: none">・ 入所・通所施設・ その他のサービス事業所・ 相談支援事業者・ 行政担当者・ その他（具体的に)
お聞きになりたいこと (講師及びシンポジスト に事前にお伝えいたし ます)	

定員になり次第締め切らせていただきますのでご容赦下さい。